

平成20年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	2. 総務費	事業名	1. 市史編さん刊行事業費		
項	1. 総務管理費	細事業名			
目	4. 市史編さん費	担当課・係	行政管理課	(執行課: 行政管理課)	

予算分析	臨時経費	継続事業	単独事業								(単位: 千円)	
	(歳入)	(歳出)	財源内訳									一般財源
要求額	0	3,099	要 求									3,099
決定額			決 定									

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要)	施 策	英知を伝え、心豊かに明日を育むまちづくり/個性ある文化を創造し、継承するまちづくり/『佐倉市史』を編さん・刊行						
	【『佐倉市史』の編さん・刊行に関する業務】	施策体系コード	03-05-02-10-45			事業番号	36-1		
	『佐倉市史』の編さん・刊行のために資料を収集し、整理・保存します。また、市史編さん委員会専門部会の開催・議題調整を行います。	総事業費	25,600千円			事業期間	平成18年度～平成22年度		
		年度別事業費	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度		
			3,360	8,640	3,360	3,360	6,880		
		(事業実施に関する根拠法令) 佐倉市史編さん委員会条例(平成10年条例第2号)							

< 事業に関する説明 >

(事業の説明) 『佐倉市史』別巻「考古編」の編さんを行う。平成20年度は着手に向けた指針・要項・体制について決定し、骨子に関する実務に着手する予算を計上する。	(事業の目的) 佐倉の通史としてすでに刊行されている『佐倉市史』巻一～四、並びに別巻としての「民俗編」に続くものとして、別巻「考古編」を編さんし刊行する。この刊行により佐倉市史としての記録を保存し後世に伝えるとともに、市民への歴史普及をはかる。	(事業の効果) 『佐倉市史』を刊行することにより、市民をはじめとして広く郷土史関係資料等を提供することが出来る。このことにより佐倉学の推進など市民等が自ら郷土を学ぶ手助けとなり、郷土意識の高揚を計る事が出来る。
(事業実施上の問題点) 特になし	(前年度からの見直し点) 特になし	(見積についての特記事項) 特になし